



⑤

**「覚り」のさまざまな表現** (森章司『仏教的ものの見方』15頁より)

「tattva」 = それがそれとしてあること  
(タットヴァ)

「satya」 = ありつつあること  
(サティヤ)

「yātha-bhūta」 = それがそれとしてあるように  
(ヤターブータ)

「自然」 = 自ずからしからしむ(そのまま)

「如実知見」 = あるがままに見る

⑦

そうだ。だから私は「無我」と言うのだ。

そのように「ありのままに見て」、  
執着を離れて安らかな境地に入るのである。

釈尊

無常 ⇨ 苦 ⇨ 無我

なるほど、分かりました。

ラーフラ

⑥

**迷い**

それが  
それとしてある

むしろ、  
6時と思っている  
(思いたい)

8時であると知らない  
||  
「真実を知らない」

**悟り**

それが  
それとしてある

8時であると知る  
||  
「真実を見る」  
「目覚めた者」=「ブッダ」

⑧

「hypnosis」 Mr.Children

全てが思い通りに  
ならぬことくらいは  
知っているつもり  
でもすんなり  
受け入れられもしないから

自分に潜んでた狂気が  
首をもたげて  
牙を剥き出し  
遠吠えをあげる  
もう手懐けられはしないだろう



9



わたしの覚ったこの真理は深遠で、見がたく、難解であり、賢者のみよく知るところである。  
ところが世の人々は、執着のこだわりを楽しみ、執着のこだわりで耽り、執着のこだわりをうれしがっている。だから、教えを説いたとしても、私には疲労が残るだけだ。私には、人々を混乱させたのではないかという憂慮があるだけだ。

(中村元訳『ブッダ—悪魔との対話—』83頁取意)

だから、  
言ったであろう。

でも、だからこそ、  
そなたを捨てないのだ。

《弥陀の本願》

苦  
の  
原  
因

**怒り**

**腹立ち**

**嫉む**

**妬む**

日  
常

自己中心性＝自分は常に正しい

11

10

聞いた仏法が、  
時どきじわっと邪魔に感じてくれば  
もうホンモノですって。

(豊島学由『人生余白の言葉—揭示伝道用語集—』30頁)

「いつで微笑みを」 Mr.Children

何もかも思い通りになったとしても  
すぐ次の不満を探してしまうだろう  
決して満たされない 誰かが傷付いても

12



内藤知康  
(1945～)

論文

「親鸞教義に於ける信心の智慧(三)」

(『印度学仏教学研究』30号〈2〉1982年)



スゴすぎるぜ！！

仏(ブツ)

執着すべきでないものに執着しない 二 覚り・安らぎ 月

本願を聞く人(信心の智慧)

執着すべきでないものを、  
執着すべきでないと知る 二 悲歎・慚愧 日

本願を聞く前の人

執着すべきでないものに執着する 二 苦しみ 曜  
日  
直